

GIMP 操作編

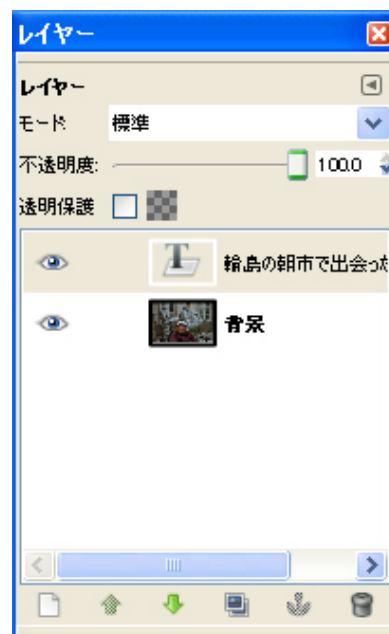
1. 画像に挿入した「文字」の再編集

画像に挿入した「文字」は、「文字レイヤー」に保存される。
そのため、文字列自体の編集（追加や削除など）は、「文字レイヤー」を開いて処理する。

メニューバーの「ウインドウ」から
「ドッキング可能なダイアログ」
「レイヤー」を開く。



「文字レイヤー」が開かれる。
「T」のアイコンをダブルクリックする。
開かれた、「テキストエディタ」で文字列の再編集を行う。
また、フォント・フォントサイズ・文字色・複数行の位置揃えなどは、ツールボックスの「オプション」設定画面で行う。



2. 画像に挿入した「文字列」の変形

前項と同じく「文字レイヤー」を選択する。
以降の「変形」は同じ手順で行う。

「遠近法」による変形
「ツールボックス」から「遠近法」を選択する。

なお、ツールオプションの設定事項は、いずれの「変形」を実行する場合でも、設定項目をチェックする。

変形を行う元画像



文字枠の四隅（上下左右）の にマウスポインタをあて、任意の方向にドラッグする。
作例では、左下隅から斜め左下方向にドラッグ。

ドラッグが終わると、「遠近法」ダイアログが表示される。

「変換」ボタンを押すと完了する。

四隅の、それぞれから方向を変えて「変換」の内容を確認する。



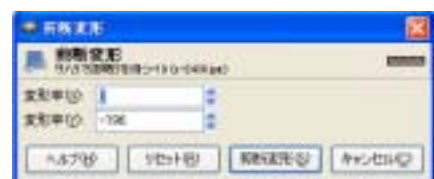
「剪断」による変形

「剪断変形」ツールを選択。

表示される「文字枠」左右の枠内で、上下方向にドラッグする。

ドラッグした方向に、文字列が傾斜し「剪断変形」ダイアログが表示される。

「剪断変形」を押すと確定し終了する。



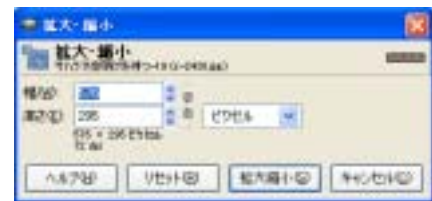
「拡大・縮小」の変形

「拡大・縮小」ツールを選択する。

文字枠の中で、上下のドラッグで「縦長文字」へ。
左右のドラッグで「横長文字」に変形される。

ドラッグの長さで、変形のサイズが決まる。

表示された「拡大・縮小」ダイアログの「拡大・縮小」
ボタンを押して決定する。



「回転」による変形

ツールボックスから「回転」を選択。

「剪断変形」と類似するが、「回転」は180度の回転が
でき、上下逆転した文字列の表示が可能。

確定は、「回転」ダイアログの「回転」ボタンを押して
行う。



「鏡像反転」による変形

「鏡像反転」ツールを選択。

文字枠内で、クリックすると実行される。

オプションで、「水平」「垂直」の選択ができる。

これらの「変形」は、組み合わせても部分的には実行可
能で、オリジナル的な処方を考察されたい。



3. フィルタ

3 - 1 フィルタの基本操作

メニューの「フィルタ」を開くと16種の「フィルタ」がメニューとして表示される。それぞれの項目で、さらに細分化された選択肢があり、それぞれの機能を必要に応じチェックしたい。ここでは、代表的な効果とその操作について解説する。



操作の手順では、大きく3種に分類される。

「フィルタメニュー」を開いてそのまま、設定が可能になる。

「ダイアログ」が開き、必要な設定を行うもの。

さらに、「ダイアログ」の中に「タブ」があり、より細かな設定ができる。

3 - 2 「フィルタ」操作例

メニューの「フィルタ」を開き、「照明と投影」を選択した。

「きらめき」の設定画面

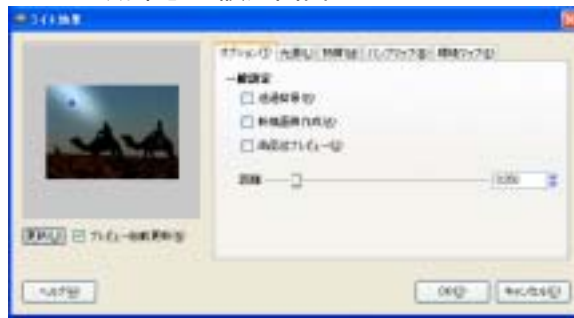


- きらめき(S)...
- グラデーションフレア(G)...
- ライト効果(L)...
- レンズフレア(F)...
- 超新星(P)...
- Xach 効果(X)...
- ドロップシャドウ(D)...
- 遠近法(P)...
- ガラススタイル(G)...
- レンズ効果(L)...

「グラデーション」の設定画面



「ライト効果」の設定画面



「レンズフレア」の設定画面



「超新星」の設定画面



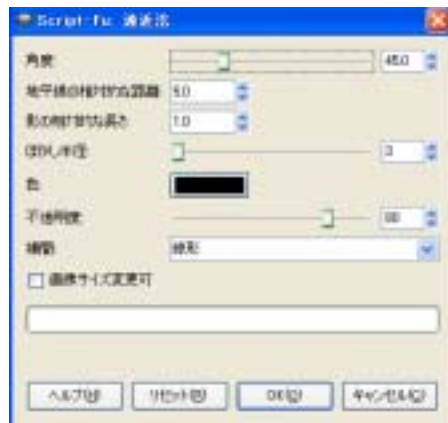
「Xach 効果」の設定画面



「ドロップシャドウ」の設定画面



「遠近法」の設定画面



「ガラススタイル」の設定画面



「レンズ効果」の設定画面



3 - 3 その他の「フィルタ」

4 - 1で、3種に分類される、とした。しかし、その分類の範疇に入らない「その他」に分類されるフィルタがある。

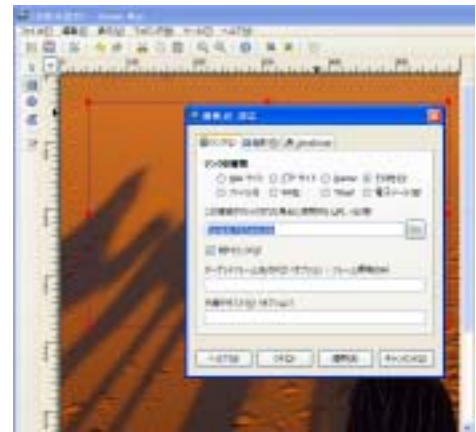
その1 「ウェブ」フィルタ

画像を開く。

「メニューバー」「ウェブ」「イメージマップ」と開く。



「イメージマップ」が開かれる。
左端上下の「ツール」の「矩形領域を定義
ツール」を選択。画像画面で「矩形範囲の
選択」を行う。
選択した状態のまま、ダブルクリックして
選択範囲が確定される。
自動的に「領域 # 1 設定」ダイアログが開
かれる。
必須として指定されている「リンク先」を
入力し、「ファイル」メニューから「保存」
を選択、「.map」形式で保存する。
その2「アニメーション」フィルタ画像に
「波紋」をアニメーションで加える。



対象の画像を開く。
メニューの「フィルタ」を開き、続けて「ア
ニメーション」「波紋」を選択。
「Script-Fu 波紋」ダイアログが表示され
る。



「波状強度」「フレーム数」などを指定し、
OKを押す。



設定した「フレーム数」1フレームを1レ
イヤーとして、自動的に作成される。

メニューの「ファイル」から「保存」を選
択し、ファイル形式を「.GIF」に指定して
「保存」を実行。

「ファイルのエキスポート」ダイアログが表示される。
「アニメーションとして保存」が選択されていること。
「規定値でインデックス画像に自動変換する」が選択されていること。
をチェックし、「エキスポート」ボタンをクリック。



「GIF形式で保存」ダイアログが表示される。
必要に応じて設定を追加し、「保存」ボタンを押して終了する。

再生は、「フィルタ」「アニメーション」「再生」で開く。
なお、既存の「GIFアニメーション」もここで開くことができる。